

# 令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

## 1 施設の概要等

施設名	牛小屋高原公園施設		
所在地	山県郡安芸太田町横川		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	ケビン、オートキャンプ場、フリーサイト等		
指定管理者	5期目	H30.4.1～R5.3.31	(株) 恐羅漢
	4期目	H25.4.1～H30.3.31	(株) 恐羅漢
	3期目	H23.11.1～H25.3.31	(株) 恐羅漢
	2期目	H21.4.1～H23.10.31	三段峡観光 (株)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	三段峡観光 (株)

## 2 施設利用状況

	年度	目標値 [事業計画]	入場者数 (有料施設)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
利用 状況	5期	R4	4,100人	4,532人	806人	432人 (110.5%)
		R3	4,000人	3,726人	△1,439人	△274人 (93.2%)
		R2	3,700人	5,165人	136人	1,465人 (139.6%)
		R1	3,700人	5,029人	1,264人	1,329人 (135.9%)
		H30	3,700人	3,765人	△317人	65人 (101.7%)
	4期平均 H25～H29	2,000人	3,515人	1,416人	1,515人 (175.8%)	
	2～3期平均 (2期H21.4～H23.10) (3期H23.11～H25.3)	2,000人	2,099人	168人	99人 (105.0%)	
	1期平均 H18～H20 H17 (導入前)	—	1,931人 1,533人	398人 —	— —	
増減理由	行動制限が解除され、オートキャンプ場を中心に新型コロナウイルス感染拡大前に定着していた固定客が戻り始め、目標を達成した。					

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	利用者 42件
	【主な意見】	【その対応状況】
	売店での取扱品の種類を増やしてほしい。	テント・ハンモック・焚き火台・ランタンなどの取扱品目の種類を増やした。

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報	— 緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議 (随時)	【特記事項等】 各施設・設備の老朽化対策 【指定管理者の意見】 利用者増に向け、利便性の向上や安全で快適に利用できるよう施設の適切な運営や修繕を行う必要がある。とりわけ、ケビン周辺のトイレの改修が望まれている。	
現地調査 (11月)	【県の対応】 指定管理者と連携しながら、計画的に修繕を実施する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	5期	R4	12,901	4,610	料金収入 (決算額)	5期	R4	6,122	1,420
		R3	8,291	△431			R3	4,702	△1,091
		R2	8,722	545			R2	5,793	770
		R1	8,177	58			R1	5,023	1,437
		H30	8,119	201			H30	3,586	648
	4期平均 H25～H29		7,918	126		4期平均 H25～H29		2,938	1,671
	2、3期平均 H21～H24 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)		7,792	△1,955		2、3期平均 H21～H24 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)		1,267	△106
	1期平均 H18～H20		9,747	△929		1期平均 H18～H20		1,373	113
	H17 (導入前)		10,676	—		H17 (導入前)		1,260	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	12,901	8,291	4,610	下水道料金改定に伴う増
		料金収入(※1)	6,122	4,702	1,420	オートキャンプ場等の利用増
		その他収入	2,412	2,017	395	食材・キャンプ用品の販売増
		計(A)	21,435	15,010	6,425	
	支出	人件費	6,149	3,568	2,581	利用者増による臨時職員等の増
		光熱水費	12,122	7,513	4,609	下水道料金改定に伴う料金の増
		設備等保守点検費	414	415	△1	
		清掃・警備費等	9	10	△1	
		施設維持修繕費	618	513	105	館内施設の補修材等の増
		事務局費	643	495	148	施設賠償責任保険期間の見直しによる増
		その他	1,267	626	641	新規レンタル事業開始による初期購入費用の増
	計(B)	21,222	13,140	8,082		
	収支①(A-B)		213	1,870	△1,657	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		213	1,870	△1,657		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の 効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	オートキャンプ場などの施設運営の他、地元食材をつかったピザづくり体験やアマゴつかみ取りなどのイベントを継続して実施した。恐羅漢トレイルランを、キャンプ場センターハウスを中心に実施し、指定管理施設の利用者増に努めた。	人気のあるキャンプ場運営に加え、自然を活かしたイベントの実施・計画を行い、利用者増に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	従前の新型コロナウイルス感染症対策に加え、空気清浄機を導入し、感染対策と快適空間の両立に努めた。	利用者が安全で快適に施設を利用できるように取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	安芸太田町や地元企業との連携を図り、各ホームページで広報するとともに、SNSを活用した利用促進に取り組んだ。とりわけインスタグラムの発信頻度を上げ、キャンプ場利用促進に努めた。	地元と連携した広報活動に取り組み、利用促進に努めている。更新頻度を高めるなど、積極的な活用状況が認められる。
	○施設の維持管理	草刈りの回数を増やし、場内の景観向上に努めた。老朽化した柵や側溝の交換を行い、利用者の安全確保に努めた。	公園の安全対策や魅力を向上させ、快適な利用環境の提供に努めている。
管理の 人的物的 基礎	○組織体制の見直し	利用者の増加に対応するため、年度途中で1名を採用した。	利用状況に応じて組織体制の見直しを行っている。
	○効率的な業務運営	スケジュールアプリを利用したシフト調整を行うなど、業務の効率化を図るとともに、新規採用者の教育に努めた。	引き続き、効率的な業務運営に努める必要がある。
	○収支の適正	前年度に引き続き、黒字を確保した。	今後も利用促進の運営を行うとともに、収支の適正化を図りながら、黒字運営を継続する必要がある。
総括		利用者ニーズを把握しすぐに対応することで固定客の継続した利用に繋げただけでなく、新たな利用者呼び込むためのイベントや効果的な情報発信を行うことにより目標を達成した。	魅力的な施設となるよう、利用者ニーズへの対応や新たな取組を行うことで利用者の満足度を高めていることは評価できる。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	支障木伐採後の原木を活用したシイタケ狩りや自転車のレンタルなど、新規事業により新たな利用者の獲得を図る。	施設の魅力を高めるための新たな企画やイベントについて支援する。
中期的な対応	老朽化した施設の維持・修繕について、点検等安全確保に努めるとともに、県と協議しながら計画的な修繕を行う。	指定管理者と連携し、優先度の高い箇所から計画的に施設の維持・修繕に対応する。